



戦争が終わった時は三才だったので、私たちの世代は戦中派、戦後派どちらに入るのだろうか。

富士山を目印に、東京空襲に向かう飛行機の編隊が翼を光らせて飛んでいくのを見たという記憶がある。三つ子の魂百までという諺どおりなのだろうか。後で聞いた本で見たことが頭の中に残っているのだろうか。もし本当に見たのであれば、少しだけ、戦争の現実の中にいたことになりませう。

同級生に会うと、昔はよかったですと子どもの頃の話になります。小遣いは少なく、もらえない子の方が多かったかもしれないけれど、自由な時間と遊ぶ場所と仲間が多かった。

親はかまって(世話)くれなかったが、お祭りなど地域の行事には世話役さんが子どもの相手をしてくれた。近くに弓矢に関係のある神社があって、祭りの日になると矢を社から空に向かって射る。それ子ども達が競って取り合う。子どもの数ほどは用意がなく矢を取った子は大喜びでみ

んなに見せびらかす。私も一度も取れなくて、毎年悔しい思いをしていた。ある年、終わってからの、その見事な矢をもらったことがあった。品肩をしてくれたのだろうか。取れなくていつも寂しい思いをしている子を気遣ってくれたのだろうか。

矢を手にした時の嬉しかったことを今でもよく覚えています。



空から降ってくる矢を拾うという危険を伴うことなので今はとても出来そうもない行事だけれど、子どもたちには、人気がありました。今地域と子どもはどのように結びついているのだろうか。

育成会やスポーツ少年団など、さまざまな組織や団体が子どもと関わって活動しています。お祭りも私の住む地域では、数年前から賑やかになりました。そのきっかけは宮大工をされていた方が越して

来られて、御輿を作って寄付してくれましたことでした。

お祭りの日になると、御輿を中心にして子どもも大人もいっしょに地域を巡る。笛や太鼓のお囃子のテープも聞こえている。御輿のない時は、社に神主さんを呼んで、世話役と総代さんが集まり、保存会の神楽が奉納されていました。子どもの関わりはほとんど無かった。

御輿は子どもと地域の大人を結びつけることになりました。子どもの世界にゲーム機が登場してから、遊びのあたりに大きな変化がおきました。

情報化が進み、コンピュータが生活の主役となる時代には、遊びのあたちも変わって当然ですが、地域の行事には、昔も今も変わらない大事なものがあると思います。

少子化で遊ぶ仲間も少ない。遊びに行っても、一人でゲームをしている子が多いのではないですか。遊びは社会性を育てるといってコンピュータの新しいタイプの遊びは、昔からの伝統的な遊びには適わない。地域のなかで子どもが育つ

仕組みを工夫していくことがこれから益々必要になると思いうし、矢をくれたあの頃の近所の人のように、自分も地域の中で、子どもが喜んでくれるようなことが何か出来るかと考えています。

# 伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

「骨髄バンクドナー登録」

白血病などの血液難病の患者さんを救うためには、骨髄移植が有効な治療法です。

あなたのやさしさを待っている人たちがいます。

骨髄バンクにドナー登録ができるのは、年齢が20歳から50歳までの健康な方(体重男45kg以上、女40kg以上の方)、骨髄提供の内容を十分に理解している方、登録について家族の同意を得ている方です。

登録には、白血球の型と血液型検査のため10℃程度の採血が必要となります。

登録に関しては手続きが行われる機関において十分な説明が行われます。

県内においては、当保健所の他、山梨県骨髄データセンター、身延保健所、吉田保健所において登録受付を行っています。

登録機関では準備の都合上、事前に予約をお願いしています。併せて骨髄移植に対する御理解をお願いいたします。

御連絡をお待ちしております。

問合せ 大月市大月町花咲1608-3 ☎(22)7824

エイズのこと

エイズ疾患・HIV感染症を地球レベルで考え、その蔓延防止や、感染者たちと共に生きる社会づくりを提唱して20数年が経ちます。

しかし、感染者は依然として増え続けています。HIV感染は誰にでも起こり得る、特別なことではないからです。感染には性行為、血液、母子の3経路があります。

最近の特徴は、性行為による感染を心配し、検査をして始めて感染を知ったという方が多いことです。

「I care... Do you?」(私は気にかけています。あなたは?)これが、今年の世界エイズデーの啓発主題です。

日ごろからこのことを心がけ、大切な人への次なる感染を防ぎましょう。

また、感染を知るには検査しかありませんので心配な方は、検査を受けましょう。検査は保健所で匿名で受けられます。

積極的に気軽に相談ください。